

磯城郡議員団だより

和也 エメール info@k-shiba.jp  
 芝西町結崎 862-7 0745-43-2415  
 吉田容工 エメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
 森良子 エメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
 (事務局) 池田年夫 エメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

# 民主、税金頼み選挙 71億円

9党「ため込み」63億円  
 にも  
 10年分  
**政党助成金使途報告**

総務省は30日、2010年の政党助成金の使途報告書を公表しました。政党助成金を受け取った民主、自民、公明、社民、みんな、国民新、新党日本、新党改革、たちあがれ日本9党の支出総額は、総選挙が行われた09年に比べ22.8%減の299億6737万円。ただ選挙関係費と宣伝事業費は09年と同じく支出全体の4割を占めるなど、10年の参院選でも国民の税金が湯水のように使われたことが浮き彫りになりました。

政権党として初めて参院選にのぞんだ民主党は、選挙関係費と宣伝事業費で計71億8859万円を支出。自民党の38億5431万円、公明党の6億5107万円などを大きく上回り、交付9党で最多でした。

民主党は、テレビCM制作・放映料として18億4644万円、新聞広告に17億9243万円使ったのははじめ、ラジオやインターネットの広告料などとして、広告代理店大手の博報堂と電通Y&R社に計約48億円を支出しました。また、参院選候補の公認・推薦料として108人に500万円ずつ計5億4000万円を配布。供託金没収費に7800万円を充てています。

自民党は総選挙での議席減で政党助成金交付額が減ったこともあり、選挙関係費と宣伝事業費は09年比約42億円減らしました。しかし、「自民党直属の広告代理店」として発足した「自由企画社」に19億4460万円、同じ身内企業の世論調査会社「日本情報調査」に調査費として5731万円をそれぞれ支出しました。

使い残した政党助成金を国庫に返納せずに9党がためこんだ基金残高の総額は09年比44.6%増の63億6682万円。民主党は44億円超で、同党が政党助成金を受け取り始めた1996年から5番目の高額です。

10年に9党が受け取った政党助成金総額は319億4200万円、制度実施から16年間の各党の山分け総額は5038億円に上りました。これらの政党は政党助成金も企業・団体献金も受け取る「二重取り」を続けています。

日本共産党は、企業・団体献金も政党助成金も受け取らず、党費と個人献金、「しんぶん赤旗」発行などの事業収入といった浄財に依拠する清潔な姿勢を貫いています。

各政党の2010年の政党助成金支出と基金残高

政党名	支出額	基金残高
民主党	148億0651万円	44億0628万円
自民党	104億6826万円	7億9490万円
公明党	25億1214万円	6億3606万円
社民党	10億1334万円	2億3728万円
みんなの党	4億9117万円	2億1846万円
国民新党	3億8232万円	2018万円
新党日本	1億4193万円	350万円
新党改革	1億1998万円	0円
たちあがれ日本	3170まんえん	5013万円
計	299億6737万円	63億6682万円

1000円以下は切り捨て

日本共産党 | 政党助成金の撤廃を主張し、受け取らず

2011年10月1日(土)「しんぶん赤旗」  
**年金数年で2.5%減額**  
**9%削減案 その後は毎年**

厚生労働省は29日、社会保障審議会年金部会に年金支給額を引き下げる制度改善案を示しました。3年程度かけて2.5%削減したうえで、その後は、現在、物価下落時には適用されない「マクロ経済スライド」の適用拡大により、毎

## 東日本地震への 救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。  
**【郵便振替口座】**  
 0017017198422  
 名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。「ご協力よろしくお願ひします。」


磯城郡日本共産党議員団

年、物価下落幅に加えて0.9%の年金引き下げを行うとしています。  
 2.5%の減額で、月約6万6000円の基礎年金(満額)は約6万4000円に減ります。3年間で削減した場合、減額幅は1年当たり0.8~0.9%で、月額約550円の減額となります。厚生年金では、これに加えて報酬比例部分も減り、月約23万円受給する「標準世帯」の場合、月に20000円程度減ります。これにより毎年10000億円程度の公費が削減できるとしています。

政府は、過去の物価下落時に「物価スライド」を適用せず年金額をすえ置いたことなどから、「現在の受給額は本来の水準より2.5%高い」とし、それを「解消する」としています。しかし、物価スライドのもとになる消費者物価でももに下がっているのはノートパソコンなど。

一方、医療・介護保険料の値上げ、増税などは反映されていません。

この日の年金部会では、一部の委員が基礎年金までマクロ経済スライドで減額することに慎重な意見を述べたほかは、減額を「速やかにやるべきだ」という意見が大勢を占めました。

日本共産党発行  
  
 月刊 ● 月 3,400円  
 日曜版 ● 月 800円

**マクロ経済スライド** 労働力人口の減少率と平均余命の伸び率の合計分(現在は0.9%)、年金額を抑制する仕組み。物価下落時に適用すると、物価スライド分に加えマクロ経済スライド分、年金が減額されます。年金(名目)額が減らない範囲で適用、物価下落時には適用しない、というルールが設けられているため、これまで適用されませんでした。このルールを取り払おうとしています。

## 介護認定審査会二次判定

介護保険を利用するには介護認定を受けなければなりません。申請をすると、認定審査員の訪問を受け、第一次判定（コンピュータ）に必要な項目をチェックされます。この項目だけでは、なかなか実態を反映しないことから、審査員が実態を確認し「特記事項」として積極的に記入する事になっています。

決算委員会で確認したところ、すべてのチェックシートに「特記事項」の記入があるそうです。本来なら、第一次判定後、第二次判定で重度に変更されるところです。ところが、

軽度への変更九・二%です（重度への変更一・二%）。広陵町では、軽度への変更二・八%。大和高田市では、軽度への変更〇・四%です。ちなみに、三宅町では、軽度への変更三・四%。本町の場合、介護保険の利用を制限しようとしているのでしょうか？

決算委員会では、申請者や家族の訴えを先ず受け止めた上で、お話を伺う事。素人の申請者にも理解できるよう充分説明するよう改善を求めました。なお、今後は、介護認定制度の廃止を国に求めていきます。

田原本町議会議員  
吉田 容上



## 新築

十月に入りましたんで、今年も三カ月を切りましたね。これからは日暮れが日々早まり気温も下がって行きますので、季節の進展を実感して行く事になりますね。春夏秋冬それぞれに思い入れが有ると思いますが、どうですか。私は、趣味がスキーですんで、ひたすら降雪を待つばかりです。長期予報では今年の冬は平年並らしく楽しみです。

さて、これから、向こう三年少々を掛けて二十六年の冬を目途に川西小学校の建て替え工事が始まります。計画では今年度に設計を仕上げて、来春からの着工です。場所

は、現在地での建て替えですので、工期を校舎、体育館やプール、グラウンド整備に分けて、順番に進める事で、先日開かれた二回目の議会特別委員会で決まりました。

一回目の時の懸案で有った、水害時の避難所対応としては、校舎二階の床高をハザードマップが示す最大浸水の五メートルに設定し、非常用電源や変電設備等もこのレベルに合わせます。

尚、これに先立ち、来年夏までに児童保育所が当地の北西角へ新設移転される事が九月議会で決まっています。

川西町議会議員  
芝 和也



## 第二次集中改革プラン

三宅町の集中改革プラン、第一次が平成18年度から22年度までの5年間。第二次として平成23年10月から25年度までという答申を9月5日に行政改革委員会が町長に行ったと町のホームページに掲載されています。

この行政改革委員会、7月に第一回の委員会が開かれたようでありすが、委員会の委員募集は、町の広報でなく、ホームページで行われたようです。町のホームページの総務課・企画の担当にも募集した形跡はありません。なのに9月5日に答申が町長に出されていますが、委員の名簿や審議内容については公表

されていません。

答申は、「集中改革プランの趣旨と内容を住民に周知し、住民の理解と協力を得ながら実現に向けて努力すること」と言っています。策定にあたっては「歳入の確保を強化改革事項としての取り組み、町集中改革プランで達成し得なかった課題も残されており、引き続き取り組みが必要な事項を継承し、策定をおこなう」と述べ、税収徴収等の向上をうたい、無駄の削減・見直しには触れられていません。住民生活を守ることを第一としなければならぬ行政としての責任が問われるのではないのでしょうか。

三宅町  
池田 年夫



## 皆さんの願いを

十月二日（日曜日）定例の日本共産党議会報告会をコミュニティーホールで開催しました。

私も一般質問した「ごみ清掃工場」と「唐古・鍵遺跡史跡公園」について報告しました。清掃工場については女性の方は「町は決まってしまうから報告されても、かなわん。決める前に伝えてほしい」。又、男性の方は「広報に一般質問した議員の名前だけでなく、質問の題名ぐらい載せてほしい」。又、この前の台風の大災害を知り、不安が膨らんでか「寺川の雨量の許容量を知りたい。広報などで知らせてほしい」。

「病院がなくなると困る。」そして、高齢の方は「病院長がなくなると困る。国保病院を盛りたてるために他の医院からの患者の紹介は、国保にしてみたらうように町は要望を医院に出してほしい」。「ハザードマップに載ってない地域がある。町はもつと住民の立場に立った知恵を出してほしい」などかせて頂き、二時間半でがりようでした。

私たち議員はこのような町民の方々の、一つひとつの願いをしつかり議会に反映させていかねばと、改めて強く感じました。

田原本町議会議員  
森 良子

